

# 総合交通メールマガジン

第100号

平成29年 4月 5日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



## 目次

### メルマガ 100 号配信記念

◆これまでの総合交通メールマガジンの歩み

（国土交通省 総合政策局 総務課）

### Topics

◆地域との連携・協働によるバスづくり

～データを活用した地域連携の取り組み～

（福島県 会津若松市 地域づくり課）

### 総合交通体系グループだより

◆ICTを活用した歩行者移動支援サービスに関する

屋外向けのプラットフォームを改訂しました！

（国土交通省 政策統括官付）

◆地域のモビリティ確保の知恵袋2016

～対流促進による地域交通の活性化～ を取りまとめました

（国土交通省 総合政策局 総務課）

### イベント等紹介

◆地域 ITS 関連活動の優れた事例募集について

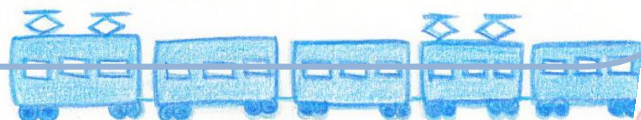
（特定非営利活動法人 ITS Japan 普及促進グループ）

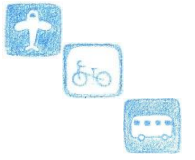
### 総合交通メールマガジンとは

### Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！





## メルマガ 100号配信記念

### ◆これまでの総合交通メールマガジンの歩み

(国土交通省 総合政策局 総務課)

総合交通メールマガジンでは、平成20年7月の配信開始以降、月1回程度の頻度で、総合交通に関する施策の動向や各地の取組事例など地域に役立つ情報等を提供して参りましたが、今回の配信で100号の節目を迎えることができました。

そこで、100号の配信記念として、これまでに配信した約160の各地の取組み事例等の記事について、様々な視点から少し分析しましたので、ご紹介します。

まず、交通モード別にこれまでの投稿記事を整理すると、バスに関する取組みが約36%と最多を占めました。次に徒歩に関する取組みが約14%、さらに、鉄道と自転車でそれぞれ約12%という結果となり、上記4つの交通モードで全体の約75%の記事を占める結果となりました。最近では、地域交通の維持・活性化のためのバスに関する取組み事例について、特に多く紹介しており、これがバスに関する記事が増えた要因かと思えます。

また、取組み事例の実施箇所について、エリア別に整理すると、関東における取組みが約29%と最多を占め、次に近畿で約15%、さらに九州で約13%という結果となり、最も少ないエリアは、沖縄で約1%という結果でした。地域的な偏りが多少ありますが、各地域の取組み事例について、幅広く紹介をしてきたところです。

このほか、執筆者別に整理すると、市区町村の方々からの執筆が約40%と最も多く、次にNPO等からの執筆で約15%という結果でした。これまで非常に多くの方々から執筆して頂き、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

各地域において、経済・社会状況は異なり、抱える課題も様々かと思えますが、これからも皆様のニーズに合致した情報発信に努めていきたいと思えます。他地域の成功事例をそのまま適用するだけでは、必ずしも成功するとは限りませんが、今後も引き続き、本メールマガジンが各地域における総合交通施策の検討の一助になれば幸いです。

《参考資料はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1704sougou.pdf>

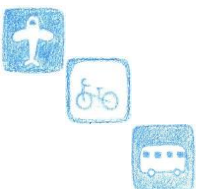


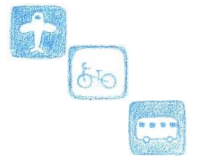
## Topics

### ◆地域との連携・協働によるバスづくり

～データを活用した地域連携の取組み～

(福島県 会津若松市 地域づくり課)





会津若松市は、福島県西部（県都福島市から約 100km）に位置し、会津盆地の東南にある人口 122,882 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）を擁する会津地方の拠点都市です。会津若松市では、高い自家用車依存や人口減少、少子化による通学者の減少を背景に、バスの利用者減少と収支悪化、減便廃止の負のスパイラルに陥っていました。

そこで、市は、平成 21 年 3 月に地域公共交通会議を設置し、平成 22 年 3 月に会津若松市地域公共交通総合連携計画を策定しました。同計画において、交通空白地区、不便地区への新たな交通システムの導入が位置づけられ、市街地外縁部の金川町・田園町において、コミュニティバスの導入が検討されました。

はじめは、バス事業者による実証運行が行われたものの、利用が低迷し、本格運行には至りませんでした。そこで、実証運行終了後の約 2 年間にわたり実証運行を検証し、地域との議論が行われた結果、地域住民等で構成されるバス運営協議会による「さわやか号」が運行されることになりました。実証運行後の約 2 年間の取り組みにより、地域と連携・協働する上で、利用者へのヒアリングなどの“利用者起点の取組”や、アンケートに基づく需要予測といった“データの共有”の重要性が明らかになりました。

これらの知見は、その後の会津若松市地域公共交通網形成計画や再編実施計画の策定時における住民へのグループインタビューや住基と連動した GIS による問題・課題の見える化の取り組みでも活用されています。本稿で紹介する取り組みは、地域住民と連携して公共交通を維持確保するための取り組み方法として大きな参考になると考えられます。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1704aizu.pdf>

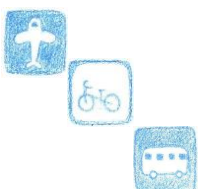


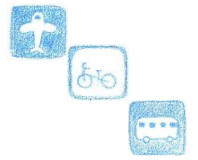
## 総合交通体系グループだより

### ◆ ICT を活用した歩行者移動支援サービスに関する 屋外向けのプラットフォームを改訂しました！

（国土交通省 政策統括官付）

国土交通省では、誰もがストレス無く活動できるユニバーサル社会の構築に向けて、ICT を活用したバリアフリーに配慮したナビゲーション等のサービスの普及促進を図るため、「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（委員長：坂村健東洋大学情報連携学部 INIAD 学部長）を設置し、検討を進めています。





2020年に向けて取組を加速化させるべく、市区町村担当者向けのガイドラインやデータ仕様、ポータルサイト等、屋外向けのサービス展開に向けたプラットフォームを改訂しましたので、ご紹介します。

国土交通省では、これらプラットフォームを活用しつつ、引き続き、地方公共団体等の様々な主体と連携しながら歩行者移動支援サービスの普及促進に取り組んでまいります。関心のある方は是非お問い合わせください。

《参考資料はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1704hokousha.pdf>

## ◆地域のモビリティ確保の知恵袋 2016

### ～対流促進による地域交通の活性化～ を取りまとめました

(国土交通省 総合政策局 総務課)

地域の公共交通を維持するために、利用者の確保は不可欠ですが、本格的な人口減少を迎える中で、地域住民のみでは十分な需要が確保されないことが想定され、如何に地域住民以外の需要を取り込むことができるかが、公共交通の維持に向けた着眼点の一つになると考えられます。

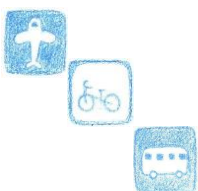
先般、人口減少など国土に係る状況の変化に対応するため、「国土のグランドデザイン 2050」、「国土形成計画（全国計画）」が策定され、新たな国土の姿として、国内の地域間や国内と海外の間の人・モノ・情報の流れ（対流）が湧き起る「対流促進型国土」が示されていますが、対流の促進により、地域によっては、地域外から人が流入することが期待されています。

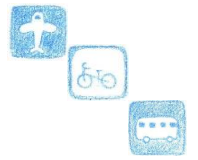
そこで、当課では、地域内外との対流を地域交通に取り込む地域交通施策のあり方について検討し、「地域のモビリティ確保の知恵袋 2016」として取りまとめました。対流促進により発生する来訪者等の交通需要を取り込むことで、地域の公共交通の活性化を図る方策を提案しています。各地域において、交通施策を検討する際の参考にしていただければ幸いです。

また、本知恵袋の内容等について、出前講座や職員向け研修などで詳しく説明していただきたいなど、ご要望頂ければ、必要に応じて対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

《参考資料はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1704chiebukuro.pdf>





## イベント等紹介

### ◆地域 ITS 関連活動の優れた事例募集について

(特定非営利活動法人 ITS Japan 普及促進グループ)

特定非営利活動法人 ITS Japan では、暮らしや産業を支えるモビリティに関して、地方自治体との連携活動をより強化したいと考えています。これまでも、いくつかの自治体および関連組織の方々と連携してきましたが、さらに一歩進めて、ITS Japan 会員企業が参画させていただき、具体的なプロジェクトを推進していく予定です。

このような活動を加速させるために、地域ITS活動、交通移動課題への取組みなどにおいて、優れた活動事例を広く集め、事例集としてまとめると共に、有識者の方々に審査員をお願いして、優秀事例を表彰させていただくことに致しました

自治体、地元事業者、大学等が連携して取り組む持続的な活動に的を絞っていますが、活動の主旨をご理解いただき、多くのご応募をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

詳細は、ITS Japan の Web サイトから、ご覧ください。

ITS Japan ホームページ: [http://www.its-jp.org/news\\_info/28818/](http://www.its-jp.org/news_info/28818/)



## 総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。

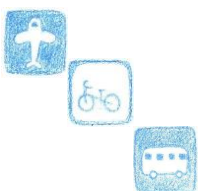
当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

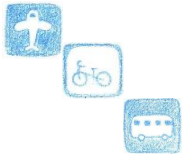
《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)

また、当メールマガジン以外でも、公共交通政策全般について、国民の皆様に広く関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下のアドレスから配信のご登録をお願いします。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000039.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html)





# Information

## ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、ご意見等頂けると幸いです。下記フォームに入力し、デスクトップ等に保存した上で、[hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp) までお送りください。ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、パソコンの環境等により不具合が生じた場合は、[hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp) までご連絡頂けますと幸いです。

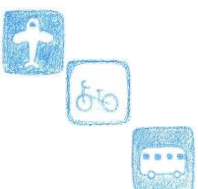
Q. 今回のメールマガジンで配信した記事は関心のある内容でしたか？

記事		非常に 関心 ある内容	関心 ある内容	あまり 関心 ない内容
Topics	地域との連携・協働によるバスづくり ～データを活用した地域連携の取り組み～			
総合交通体系 グループだより	ICTを活用した歩行者移動支援サービスに関する 屋外向けのプラットフォームを改訂しました！			
	地域のモビリティ確保の知恵袋2016 ～対流促進による地域交通の活性化～ を取りまとめました			
イベント等紹介	地域ITS関連活動の優れた事例募集について			

Q. 今後のメールマガジンでどのような情報を配信してほしいですか？

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : [hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp)





## ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。(情報提供はこちらまで [hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp](mailto:hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp))

### 【情報提供頂く内容】

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※バックナンバー一覧：

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)

### 【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 樋口

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：[hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp](mailto:hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp)

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>



※ 総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました。

